

■桃山公園の目指すべき姿

概要と課題

桃山公園は、桃山台駅に直結し、千里ニュータウン南部に立地しています。春日大池と「大阪みどりの百選」に選定された“千里の竹林”が大部分を占めており、新御堂筋線沿いにありながら静かで落ち着いた雰囲気を持つ公園です。主に休息・散歩・運動に利用されているほか、万博記念公園、千里緑地、服部緑地等と連坦して“みどりの骨格”を形成し、北大阪の生物多様性保全や環境保全にも役立てられています。主に周辺の住民に利用されており、“豊かなみどりと千里丘陵の原風景を楽しめる公園”として親しまれています。

<概要>

種別：地区公園
所在地：桃山台2丁目10番
面積：60,000㎡
開設年月日：昭和46年（1971年）
その他：一時避難地指定



<課題>

① 千里丘陵の原風景の保全・活用

春日大池は、水草が繁茂する時期に悪臭が発生し、快適な公園利用環境を損ねています。ボランティアにより維持管理されている“千里の竹林”は今後も保全していく必要があります。また、これらを公園の資源として十分に活用できていません。

② 公園施設の老朽化への対応

公園の開設から49年が経過しており、施設の老朽化が進んでいます。特に東屋とトイレは修繕又は撤去・更新が必要です。

③ 新たな魅力の創出

駅に直結した好立地にも関わらず利用目的や利用者層が限定されており、公園の機能が最大限に発揮されていません。

④ 千里ニュータウン再生の資源としての活用

単にみどりの拠点としてだけでなく、新たな屋外生活を楽しめる多世代交流の拠点として活用するなど、千里ニュータウン再生にも寄与する公園運営が必要です。

魅力向上に向けた理念

SENRI GENERATIONS FOREST
～「守る×交流×みどり」 いつもと違う 桃山 REBORN!!～

目標像（パークビジョン）

美しく風格ある都市を形成！

- 春日大池と“千里の竹林”により形成される千里丘陵の原風景を保全・活用します。
- 水面を活かした高質でハイセンスな飲食店を設置します。

緑豊かでうるおいのある都市生活を実現！

- 休息、観賞、散歩、遊戯、運動など、市民が日常的に多目的に利用できる公園とします。
- 近接する桃山台スポーツグラウンドとの相互利用により、相乗効果を発揮させます。

つながりを実感できる暮らしを実現！

- 新たな屋外生活を楽しむ中で、地域の多世代交流が促進される場を創出します。
- イベント開催や協議会運営等により、市民・事業者・行政の交流を促進します。
- 地域に応じた柔軟な公園利用、多様なサービス提供、積極的な市民活動等が行われる仕組みをつくります。

魅力向上イメージ

凡例

- C 入口広場ゾーン
- D 樹林ゾーン
- G 水辺・親水ゾーン
- H 休息・散策ゾーン
- J 遊戯広場ゾーン

竹林の活用

遊戯広場

駐車場

売店（パークセンター含む）

桃山台駅

春日大池

噴水

↓桃山台スポーツグラウンド

マルシェ

健康増進

飲食店

東屋

※写真の施設、取組、ゾーン等はイメージであり、決定した事業計画ではありません。
また、ゾーンの全範囲で展開するものではありません。

ゾーン別運営方針

ゾーン名	方向性	取組イメージ
C:入口広場	季節の花があり、市民活動の場となる広場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に直結したメインエントランスに相応しい十分なスペースと開放感のある広場の整備 ・花壇のグレードアップ ・市民のチャレンジショップの開催拠点としての活用
D:樹林	千里丘陵の原風景を感じられ市民活動の場となるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が“千里の竹林”とふれあえる空間の創出とイベントの開催 ・市民によるボランティア活動の支援 ・利便を向上する駐車場や売店等の整備
G:水辺・親水	うるおいがあり、生き物の観察など水辺を楽しむゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じた春日大池の保全活動 ・東屋の更新 ・水辺に親しみながら憩える飲食店の設置
H:休息・散策	地形を活かし千里ニュータウンの大きく育ったみどりを360°感じられる憩いの散策ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩・ジョギングに適した回遊式園路の改修 ・便所や東屋等の更新 ・継続的な保全管理体制の構築
J:遊戯広場	健康増進に寄与し、子どもが安全に遊ぶことができるゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に健康活動を行える場の充実 ・既存の健康活動の場とエリア分けをした遊戯施設の設置